

「国際的な健康管理の問題には、根源的な治療法が鍵になるだろう」

佐藤文武、平野伸一、黒川亮介、市川祐介、丸山篤史 (MiZ 株式会社)
武藤佳恭 (慶應義塾大学)

デビッド E.ブルームは「国際的な健康管理の問題に対する可能性と危険性」というタイトルの論文を書いた (1)。

WHO が勧告した統計分類 (International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems, ICD) から類推して、疾病の数は、およそ 3 万から 4 万種類であるだろう (2)。しかしながら、世界各国の薬局方には 2 万種類前後の医薬品しか登録されていない (3)-(5)。リストに記載された薬品は用量の違いで重複しているため、私たちの社会に医薬品は数千種類しか存在しない。医薬品の多くは、疾病の進行を管理し、経過を改善するために用いられるが、真に治療できるものは多くない。

国際的な健康管理の問題を解決するには、私たちの限られた経済資源を効率かつ最適に使う必要がある。個々の疾病に対して治療薬を開発するのでは、早晩、資源が枯渇するであろう。

国際的な健康管理の問題に対して状況を劇的に改善させるには、過剰な酸化ストレスや炎症といった多くの疾病に共通する病理学的な要因といった、根源的な治療法が鍵になるだろう。

参考文献:

1. Science 24 Aug 2018: Vol. 361, Issue 6404
2. <http://apps.who.int/classifications/icd10/browse/2016/en#/U00-U49>
3. <http://www.usp.org/>
4. <https://www.pharmacopoeia.com/>
5. <https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000066597.html>